日本平公園基本計画改定(案)

2026（令和８）年 11 月

静岡市

目　　次

はじめに

１　計画の前提条件

（１）計画改定の目的---------- １－　1

（２）公園の概要---------- １－　2

1）公園の立地---------- １－　2

2）都市計画上の位置付け---------- １－　3

3）都市計画公園区域の整備状況---------- １－　4

4）公園計画の策定経緯---------- １－　6

（３）計画条件の整理---------- １－　9

1）計画改定の対象---------- １－　9

2）「日本平公園基本計画改定専門委員会」の設置---------- １－ 10

3）名勝日本平保存活用計画との整合---------- １－ 12

4）計画区域に係る他法令の適用状況---------- １－ 17

5）来訪者の利用動向---------- １－ 19

２　計画の課題

（１）基本計画の理念---------- ２－　1

（２）現状・課題の整理---------- ２－　2

1）名　勝---------- ２－　2

2）観　光---------- ２－　2

3）公園マネジメント---------- ２－　3

（３）課題解決に向けた取組の方向性---------- ２－　4

３　計画の基本方針

（１）目指す将来像---------- ３－　1

（２）計画の基本方針---------- ３－　2

（３）主な取組の内容---------- ３－　3

1）回遊性の向上、滞在型の利用への対応---------- ３－　2

2）歴史文化体験機能の向上---------- ３－　2

3）多様な主体が関わる公園マネジメントの推進---------- ３－　3

４　改定基本計画

（１）空間構成---------- ４－　1
1）基本的な考え方---------- ４－　1
2）エリアの設定---------- ４－　2
（２）施設計画---------- ４－　3
1）必要な施設（取組）の整理---------- ４－　3
2）各エリアの整備方針---------- ４－　4
（３）動線計画---------- ４－　8
（４）景観形成計画---------- ４－ 11
1）基本的な考え方---------- ４－ 11
2）景観軸の設定---------- ４－ 11
3）修景植栽の方針---------- ４－ 14
（５）周辺緑地の保全---------- ４－ 16
1）基本的な考え方---------- ４－ 16
2）周辺緑地の管理方針---------- ４－ 16
（６）周辺施設との連携---------- ４－ 17
1）周辺観光施設等の状況---------- ４－ 17
2）取組の方向性---------- ４－ 17
（７）事業計画---------- ４－ 20
1）利用者数---------- ４－ 20
2）主な便益施設の規模---------- ４－ 20
3）整備の進め方---------- ４－ 22

５　公民連携による事業推進

（１）公民連携の必要性---------- ５－　1
（２）取組の方向性---------- ５－　1

資料編（別冊）

はじめに

静岡市街地の中心に位置する日本平は、富士山をはじめ、駿河湾、清水港、三保松原、市街地を一望できる本市を代表する景勝地として親しまれています。

日本平公園の計画は、今から 100 年前の 1926（大正 15）年に、徳富蘇峰が日本平の山頂からの風景を絶賛したことから始まり、この優れた風景を将来に渡って継承していくため、1937 年（昭和 12 年）に 88.5 ヘクタールの区域を静岡県の都市計画に定め、公園として整備することを決定しました。1959 年（昭和 34 年）には、日本平公園の都市計画区域を含む地域が「名勝日本平」に指定され、その後、県立自然公園の施設や民間観光施設の整備が行われたことにより、多くの人が日本平の風景を享受できるようになりましたが、日本平公園自体の整備は長らく行われてきませんでした。

2005（平成 17）年に静岡市が政令指定都市となり、公園の整備主体が静岡県から市に移ったことをきっかけに、2008（平成 20）年に「日本平公園基本計画」を策定し、現在も整備を進めています。

日本平公園は、市民が自然や眺望に親しむ憩いの場であるとともに、公園計画区域内には日本平ホテルや日本平ロープウェイ等の民間施設が立地し、日本平エリアの観光やレクリエーションを担う本市の重要な観光交流の拠点でもあります。

基本計画策定から約 20 年が経過する中で、人々の余暇の過ごし方や観光ニーズの多様化、名勝の活用に対する認識の高まり、公民連携による持続的な公園運営への期待など、日本平公園が取り組むべき課題も変化しています。

これまでの整備成果を継承しながらも、さらに多くの人に親しまれる公園づくりに取り組むため、この度、今後の日本平公園の整備のあり方を再検討し、日本平公園基本計画を改定することとしました。

今回の基本計画の改定では、現状の課題を踏まえ、公園が「目指す将来像」を見直すとともに、目指す将来像の実現に向けた施設整備や管理運営の基本的な方向性を検討しました。

今後は、この基本計画に基づき、市民や地域の活動団体、観光関係者、民間事業者などと連携しながら、日本平の「風景」を体感できる公園づくりを進めていきます。